

## 1 児童の実態と外国語活動のねらい

本校6年生の児童は、各クラス30名弱の3学級編成である。4月に行ったアンケートでは、外国語活動が楽しいと答える児童は、8割程度で、好きな理由としては「ゲームができるから」、「これから英語を覚えたいから」などが挙げられていた。しかし、外国語活動は楽しいが、外国語を使って進んでコミュニケーションを取ろうとする児童は少なかった。

このような児童の実態から、導入を工夫したり、ゲームを多く取り入れたり、児童が楽しく外国語に触れられるような授業を目指した。同時に、これからの外国語活動を見据えて、ALTやデジタル教材を活用し、単語や英語での表現に慣れ親しむことができるような授業展開を工夫した。児童に正しい発音について気付かせたり、会話の大体の意味を考えさせたりするために、ALTに、夏休みの過ごし方や、おすすめの場所など、毎時間スピーチを依頼した。

## 2 実践内容

### Hi, friends! 2 Lesson 1 アルファベットクイズをしよう

(導入)

- ・ 身の回りにあるアルファベット表示を探す活動

(活動内容)

- ・ 教室の物を数える活動（机といすの数、掲示物の数、ロッカーの数など）
- ・ カウントゲーム（ペアで1から順に数字を数えていき、決められた数を言ったら負け）

### Hi, friends! 2 Lesson 2 友達の誕生日を調べよう

(導入)

- ・ バースデーライン（声を出さず、ジェスチャーを使って誕生日順に並んで円を作る）
- ・ 仲間集め（同じ月の誕生日の友達が集まる）

(活動内容)

- ・ バースデーカードを渡す活動（友達の誕生日を尋ね、英語で答えられた誕生日をカードに書き、裏には友達の良いところを書いてプレゼントする）

### Hi, friends! 2 Lesson 4 道案内をしよう

(導入)

- ・ 地図上でALTが行きたい場所があるが、行き方が分からないという内容のスピーチを聞く活動

(活動内容)

- ・ ボランティアの児童の案内でALTが目をつぶって歩く活動

## 3 成果・課題

児童は、外国語活動の時間を楽しみにしていた。ゲームを取り入れた外国語活動は盛り上がり、進んで活動する児童が多かった。しかし、単語で伝えることはできるが、文で話す児童が少なかった。教師が、単語をつなげて文で話すように、もっと支援が必要であった。

今後は、日本と外国の文化的な違いに気付けるような支援や、単語や表現を正しく発音すること、よりコミュニケーションの質を高めるような工夫を考えていかなければならないと感じた。